



麦類生産費統計調査票 【六条大麦】

(個別経営体用)

「農業簿記 11 (ソリマチ)」を活用した調査票

記入マニュアル

農林水産省

大臣官房統計部
経営・構造統計課

農林水産省

目 次

はじめに

「農業簿記 1 1」での初期設定・・・・・・・・・・ 1

部門や補助科目の設定、補助科目一覧表・・・・・・・・ 2、3

調査票の記入

1：経営の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4、5

2：生産物の販売等の状況・・・・・・・・・・・・・・ 6～9

3：対象品目の麦生産のために使用した資材等・・・・ 10～19

4：物件税及び公課諸負担・・・・・・・・・・・・・・ 20、21

5：土地改良及び水利費・・・・・・・・・・・・・・ 22、23

6：借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子・・・・ 24、25

7：建物及び構築物（土地改良施設を含む。）

の所有状況・・・・・・・・・・ 26、27

8：自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況・・・・ 28、29

9：農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況・・・・ 30、31

10：農具の購入費等・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32、33

11：土地の面積及び地代・・・・・・・・・・・・・・ 34～37

12：作業別労働時間・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38、39

＜記入上の注意事項＞

1. 調査項目欄については、右詰で記入してください。
2. 記入に際しては、黒の鉛筆またはシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。
3. 回答もれや回答誤りがないか、最後にもう一度ご確認ください。

※ 数字は枠からはみ出さないよう、楷書でていねいに記入してください。
※ 調査項目の具体的な説明については「調査票の記入の仕方」を参照してください。

はじめに

「農業簿記 1 1」での初期設定

農業簿記のデータを用いて、六条大麦生産費の調査票を記入する場合、事前に畑作部門設定しておくほか、調査項目を農業簿記に設定しておく必要があります。

なお、麦しか生産していない場合は部門の設定は必要ありません。

（取引事項が発生した時点で、設定することも可能です。）

畑作部門の設定は、一番最初の起動時に、案内に沿って進めていくことで、設定されます。後から設定する場合は、以下の手順で行います。

- 1 メニュー画面
- 2 初期を選択
- 3 基本を選択
- 4 部門設定を選択

（詳細は、農業簿記「導入マニュアル」を参照してください。）

また、麦生産費用の調査項目を設定する場合は、補助科目機能を利用し、勘定科目の内訳を作成します。

例えば、農薬費の内訳として、除草剤、殺虫剤、殺菌剤を設定する必要があります。

（3頁に一覧表があります。）

以下の手順にて、六条大麦生産費用の調査項目を設定してください。

- 1 メニュー画面
- 2 初期を選択
- 3 基本を選択
- 4 勘定科目設定を選択
- 5 補助科目設定のボタンが表示されるので、クリックして、分類（売上、経費、負債等）別に、設定します。

＜記入上の注意事項＞

1. 「農業簿記11」で、把握できない項目については、「記入の仕方」を参考にし、調査票に直接ご記入ください。
2. また、記入内容について、職員や専門調査員から照会等させていただく場合がございますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

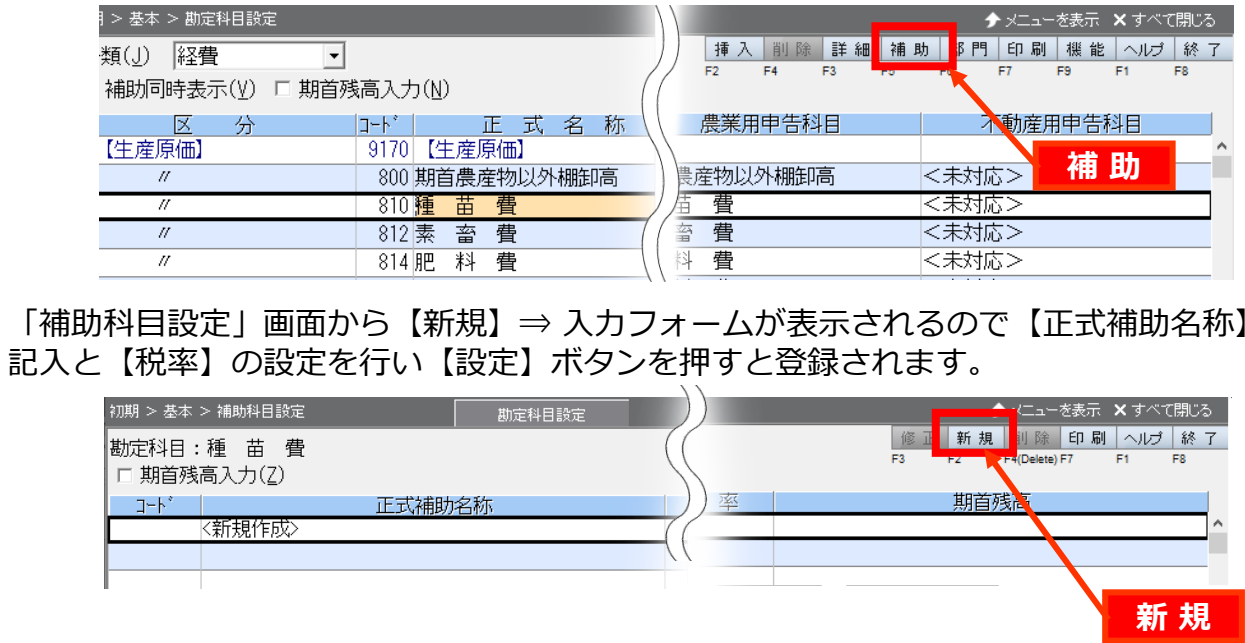
畑作部門の設定

複数の品目を生産・販売している場合は、「畑作部門」を事前に設定します。以下の図はソリマチ「農業簿記11」の起動画面「ダイレクトメニュー」です。
ここから、横【初期】⇒縦【基本】⇒メニュー【部門設定】と進みます。



補助科目の設定

ダイレクトメニューで【初期】⇒【基本】⇒【勘定科目設定】と進みます。
補助科目を追加したい勘定科目を選択し、上部タブメニューの【補助】を選択



六条大麦生産費における補助科目（設定例）

損益計算書（勘定科目）⇒《経常損益の部》

【売上高】売上高			
売上高	六条大麦に係る収入	光熱費	潤滑油
	六条大麦（1等）	動力	混合油
	六条大麦（2等）		電力料
	六条大麦（規格外A）		その他
	六条大麦（規格外B）	資材費	資材
	六条大麦（規格外C）		農機具費
	麦わら（販売用）	修繕費	建物修繕費
	くず麦		農具修繕費
	はだか麦に係る収入		車修繕費
	はだか大麦（1等）	賃借料	薬剤散布共同負担金
	はだか大麦（2等）		共同施設負担金
	はだか大麦（規格外A）		農機具借料
	はだか大麦（規格外B）		その他
	はだか大麦（規格外C）	地支払	小麦（K団地）
	麦わら（販売用）		小麦（L団地）
	くず麦	作業委託料	航空防除費
			賃耕料
			は種・定植料
			収穫請負わせ賃
			乾燥調製料
肥料費	窒素質肥料	土地改良水利費	ほ場整備事業維持負担
	リン酸質肥料		ほ場整備事業償還金
	カリ質肥料		農地開発事業
	けい酸質肥料		かんがい排水事業
	炭酸カルシウム		農道整備事業
	複合肥料		水利組合費
	土壌改良資材		揚水ポンプ組合費
	たい肥・きゅう肥		その他
	その他	農薬費	殺虫剤
			殺菌剤
光熱費	重油		殺虫殺菌剤
	軽油		除草剤
	灯油		その他
	ガソリン	光熱費	重油
		動力	軽油
			灯油
			ガソリン
		販売費一般管理費	雇人費
			男雇用
			女雇用
租税公課	固定資産税・建物	流動負債	買掛金
	固定資産税・農機具		短期借入金
	不動産取得税（土地以外）	固定負債	長期借入金
	自動車取得税		△△資金（トラクター用）
	水利地益税		××資金（コンバイン用）
	都市計画税		
	共同施設税		
	軽・自動車税		
	自動車重量税		
	自賠責保険		
料損	集落協議会費		
	農業協同組合費		
	農事実行組合費		
	農業共済組合賦課金		
	自動車保険料		
費種	種子		
補助	窒素質肥料		
	リン酸質肥料		
	カリ質肥料		
	けい酸質肥料		
	炭酸カルシウム		
	複合肥料		
	土壌改良資材		
	たい肥・きゅう肥		
	その他		
新規	殺虫剤		
	殺菌剤		
	殺虫殺菌剤		
	除草剤		
	その他		
補助	航空防除費		
	賃耕料		
	は種・定植料		
	収穫請負わせ賃		
	乾燥調製料		
	その他		
補助	水田活用の直接支払交付金		
	戦略作物助成金		
	産地交付金		
	畑作物の直接支払交付金		
	面積払		
	数量払		
補助	農業共済		
補助	買掛金		
	短期借入金		
補助	長期借入金		
	△△資金（トラクター用）		
	××資金（コンバイン用）		

※ 上記以外でも普段使用しているものがあれば、随時追加しておいてください。

【1】経営の概況

- 1 経営耕地
- 2 世帯員数と農業就業者数等
- 3 認定農業者の状況
- 4 直近5か年の10a 当たり収量
- 5 対象品目の麦生産における作業委託の状況
- 6 対象品目の麦の品種別作付面積

調査票 P3,4

「経営の概況」1～6項

左記6項目に関しては、「農業簿記11」では対応しておりません。
麦類生産費統計調査票【六条大麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

制度受取金等の状況

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。

合計残高試算表 ⇒ 集計範囲：決算 ⇒ 部門：畑作部 ⇒ 表示タイプ「補助表示」にチェック
を入れて、損益計算書を選択し印刷します。

事前に、「農業共済」、「戦略作物助成金」、「面積払」等の補助科目を設定しておきます。

ここでは、印刷した試算表の「残高」を見て、調査票に記入していくことを前提とします。
また、わかりやすいよう補助科目は赤字にしています。
(以下、同様です。なお、実際に印刷されたものは黒字です。)

7 制度受取金等の状況

・当年産の対象品目の麦に係る制度受取金等について記入してください。

調査票 P4

区分		掛 金 (円)					受 取 金 (円)				
		万	千	百	十	+	万	千	百	十	+
農 業 共 済		6	9	0	0	0					
水田活 用の直 接支払 交付金	戦略作物援助						1	5	0	5	0
	産地交付金										
畑作物 の直接 支払交 付金	面 積 払						9	0	1	0	0
	数 量 払						4	9	6	2	0

損益計算書

全部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【販売費一般管理費】					
共済 掛金					
農業共済				69,000	
[営業外損益の部]					
【営業外収益】					
助成金収入				2,902,200	
戦略作物助成金				1,505,000	
産地交付金					
面 積 払				901,000	
数 量 払				496,200	

【2】生産物の販売等の状況

調査票 P5

1 対象品目の麦（六条大麦）の品質・用途別の販売状況等（玄麦換算）

区 分		内 容 例 示	数 量 (kg)				金 額 (円)			
販 売 用 （ 予 定 を 含 む ）	1 等（計）		万	千	百	十	万	千	百	十
			1	1	7	0	3	8	6	1
		農産物検査において「1等」と判定されたもの	0	0			0	0		
	2 等（計）									
		農産物検査において「2等」と判定されたもの								
	規格外A（計）			8	8	0		1	6	7
		農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Aランクのもの						2	0	
自 家 用	規格外B（計）									
		農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Bランクのもの								
	規格外C	農産物検査において「規格外」と判定されたもののうち、Cランクのもの								
	その他	種子用のほか、1・2等や規格外と同等の品質を有するもの								
	食 用	食用に仕向けた（予定を含む。）1・2等、規格外Aのもの								
自 家 用	種 子 用	種子用に仕向けた（予定を含む。）もの								
	規 格 外 B	自家用に仕向けた（予定を含む。）規格外のうちBランクのもの								
	規 格 外 C	自家用に仕向けた（予定を含む。）規格外のうちCランクのもの								
	そ の 他	食用、種子用、規格外B・C以外に仕向けた（予定を含む。）もの								

販売用（予定を含む。）の記入

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を印刷します。

この事例では、売上高の補助科目として「六条大麦（1等）」、「六条大麦（2等）」等を設定しました。

損益計算書		畑作部門			
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比（%）
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【売上高】					
六条大麦に係る収入				410,020	
六条大麦（1等）				386,100	
六条大麦（2等）					
六条大麦（規格外A）				16,720	
六条大麦（規格外B）					
麦わら（販売用）				4,500	
くず麦				2700	

販売用及び、自家用の数量の記入

「農業簿記11」では対応しておりません。
麦類生産費統計調査票【六条大麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【2】生産物の販売等の状況（続き）

調査票 P 6

3 麦わら、くず麦の販売状況等

(1) 麦わら

区 分	内 容 例 示	数量の 割合 (%)	金 額 (円)
販 売 用	麦かん、麦わら加工品、麦ぬか、ふすま等	3 0	4 5 0 0
自 家 用	販売していない麦わら全般	7 0	
うち無評価分	刈取機の切断わらや野積み等のわら	8 0	
計		1 0 0	

(2) くず麦

区 分	数量の 割合 (%)	販 売 用	自 家 用	そ の 他 (廃 棄 等)
く ず 麦	1 0 0	3 0	1 0	6 0

区 分	販 売 金 額 (円)
く ず 麦	2 7 0 0

麦わらとくず麦の販売金額

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を印刷します。

この事例では、売上高の補助科目として「麦わら（販売用）」、「くず麦」を設定しました。

合計残高試算表					
畑作部門					
勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【売上高】					
六条大麦に係る収入				2,977,270	
六条大麦（1等）				2,769,000	
六条大麦（2等）				0	
六条大麦（規格外A）				0	
六条大麦（規格外B）				205,570	
麦わら（販売用）				4,500	
くず麦				2,700	

麦わら、くず麦の「数量の割合」

「農業簿記11」では対応していません。
麦類生産費統計調査票【六条大麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等

調査票 P 6

1 種苗費

(1) 種子 (購入)

品 種 名	数 量	単 位	金 額 (円)				
計		—		万	千	百	十
				5	8	0	0

(2) 種子 (自給)

品 種 名	数 量	単 位

種苗費 (購入金額)

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を印刷します。

この事例では、種苗費の補助科目として「種子代」を設定しました。

損益計算書

畑作部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				58,000	
種子代				58,000	

種子の購入及び自給数量

「農業簿記 1 1」では対応しておりません。
麦類生産費統計調査票【六条大麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。
次ページ以降の調査項目も同じです。

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等（続き）

調査票 P 7

2 肥料費

(1) 購入

資 材 名 等		数 量	単位	金 額 （ 円 ）					対象品目 負担割合 (%)	備 考 欄		
計			—		万	千	百	十				
窒 素 質	ノウスイ硫酸	500	kg	2	3	5	0	0	2	5		
りん 酸 質												
カリ 質												
けい 酸 質												
(炭酸カルシウムを含む。)	スーパー〇〇	18560	kg	8	1	6	6	4	0	2	5	
複 合 肥 料	パワー△△号	8400	kg	1	7	6	4	0	0	0	2	5
土 壌 改 良 資 材												
たい肥・きゅう肥		500	kg		1	0	7	5		2	5	
そ の 他			—	1	2	0	7	0		2	5	

※融雪剤として使用した分は「5 諸材料費」に記入してください。

微生物資材、液肥、農薬入り肥料、ペースト肥料、苦土質肥料、微量要素肥料、有機質肥料など

※融雪剤として使用した
分は「5 諸材料費」
に記入してください。

微生物資材、液肥、農
薬入り肥料、ペースト
肥料、苦土質肥料、微
量要素肥料、有機質肥
料など

肥料費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を参照します。

この事例では、前年に購入したものは投入しておりません。
また、肥料費の補助科目として「窒素質肥料」、「複合肥料」等を設定しています。

損益計算書		畑作部門			
勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				58,000	
種子代				58,000	
肥料費				2,167,285	
窒素質肥料				23,500	
炭酸カルシウム				816,640	
複合肥料				1,764,000	
たい肥・きゅう肥				1,075	
その他				12,070	

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等（続き）

調査票 P7

2 肥料費（続き）

(2) 自給（自家生産した肥料）

資 材 名 等				数 量 (kg)				対象品目 負担割合 (%)	
計				万	千	百	十		
た い 肥									
き ゆ う 肥									
稲 ・ 麦 わ ら						5	6	0	2 5
そ の 他									

3 農業藥劑費

資 材 名 等		金 額 (円)				対象品目 負担割合 (%)	備 考 欄
計			万	千	百	十	
殺虫剤							
殺菌剤	〇〇乳剤	2	6	8	0	0	2.5
殺菌剤 殺虫剤							
除草剤	△△フロアブル	5	8	7	2	0	2.5
そ の 他							

植物成長調整剤、展着剤、生産に使用する農具及び資材の殺菌・消毒剤など

自給肥料の投入量

「農業簿記 11」では対応していません。
麦類生産費統計調査票【六条大麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

農業藥劑費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を参照します。

この事例では、前年に購入したものは投入していません。
また、農薬費の補助科目として「殺虫剤」「殺菌剤」等を設定しています。

損益計算書

畑作部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				58,000	
肥料費				2,167,285	
農薬費				855,200	
殺虫剤					
殺菌剤				268,000	
殺虫殺菌剤					
除草剤				587,200	
その他					

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等（続き）

調査票 P8

4 光熱動力費

資 材 名 等		数 量	単 位	金 額（円）	対象品目 負担割合 （％）
購 入（計）			—		
動 力 燃 料	重 油		L		
	軽 油	25452	L	1 8 8 8 0 4	2 5
	灯 油		L		
	ガ ソ リ ン	95	L	1 2 4 4 5	1 5
	潤 滑 油		L		
	混 合 油	133	L	2 1 9 4 5	1 5
電 力 料			—	7 3 3 0	1 5
そ の 他 （水道料、木炭などの燃料）			—	9 6 0 0	1 5
自 給	薪	20	kg		1 5

5 諸材料費

資 材 名 等		数 量	単 位	金 額（円）	対象品目 負担割合 （％）
購 入（計）			—		
				1 6 0 0 0	2 5
自 給	なわ	10	m		2 5

光熱動力費及び諸材料の購入金額

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を参照します。

この事例では、動力光熱費の補助科目として「重油」、「軽油」等を設定しています。
なお、動力光熱費について、事前に部門別に仕分ける事が困難な場合は、
共通部門として入力しておき、「全部門」を選択して、計算させます。

損益計算書

畑作部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比（％）
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				58,000	
肥料費				2,167,285	
動力光熱費				240,124	
重油				188,804	
軽油					
灯油					
ガソリン				12,445	
潤滑油					
混合油				21,945	
電力料				7,330	
その他				9,600	
諸材料費				16,000	
育苗用土					
その他					

自給資材について

「農業簿記11」では対応しておりません。
麦類生産費統計調査票【六条大麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【3】対象品目の麦生産のために使用した資材等（続き）

調査票 P8

6 賃借料及び料金

料 金 名 等		数 量 等	単位	金 額 （ 円 ）					対象品目 負担割合 (%)		
計			—		万	千	百	十			
負担金 共同	薬 剤 散 布		—		7	0	1	0	0	2 5	
	共 同 施 設		—							←	
農 機 具 借 料			—		1	1	3	0	0	0	1 5
航 空 防 除 賃		1802.0	a		2	7	0	3	0	0	2 5
賃 耕 料			a								
は 種 ・ 定 植 料			a								
収 穫 請 負 わ せ 賃			a								
乾 燥 調 製 料		13210	kg		1	9	1	5	4	5	1 0 0
そ の 他			—			9	7	0	0		2 5

賃借料及び料金

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を参照します。

この事例では、賃借料並びに作業委託料の補助科目として共同による
「薬剤散布共同負担金」「航空防除賃」等を設定しています。

損益計算書		畑作部門			
勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
種苗費				58,000	
賃借料				183,100	
薬剤散布共同負担金				70,100	
共同施設負担金					
共同苗代負担金					
農機具借料				113,000	
その他					
作業委託料				471,545	
航空防除賃				270,300	
賃耕料					
は種・田植賃					
収穫請負わせ賃					
乾燥調製料				191,545	
その他				9,700	

数量の入力

「農業簿記11」では対応しておりません。
元帳に数量（面積や重さ）を入力する事は可能ですが、計算はされません。
麦類生産費統計調査票【六条大麦】 「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【4】 物件税及び公課諸負担

調査票 P 9

1 物件税

区 分	金 額 （ 円 ）	対象品目 負担割合 (%)
計	万 千 百 十	
固定資産税（建物）	2 3 0 0 0	1 0
固定資産税（農機具）	1 5 0 0 0	1 5
不動産取得税 （土地以外）		
自動車取得税		
水利地益税		
都市計画税 （土地以外）		
共同施設税		

2 公課諸負担

区 分	金 額 （ 円 ）	対象品目 負担割合 (%)
計	万 千 百 十	
集 落 協 議 会 費 （地域集落等の会費）	9 0 0 0	2 0
農 業 協 同 組 合 費	1 7 5 0 0	2 0
農 事 実 行 組 合 費 （麦作部会等の各種部会費）	2 5 0 0	2 0
農 業 共 済 組 合 賦 課 金	9 0 0 0	2 5

物件税及び公課諸負担

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
 合計残高試算表の決算・**全部門**・損益計算書を参照します。

この事例では、物件税並びに公課諸負担の補助科目として「**固定資産税**」「**集落協議会費**」
 等を設定しています。
 ここでは、共通部門で入力したので、全部門を選択していますが、わかりやすいよう全て畑
 作で負担したと見なしています。
 なお、自動車に関する物件税（自動車重量税、自動車税、軽自動車税）は、調査票11ページ
 の【8】自動車の所有状況に記入してください。

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【販売費一般管理費】					
租税 公課				76,000	
固定資産税・建物				23,000	
固定資産税・農機				15,000	
自動車取得税					
水利地益税					
都市計画税					
共同施設税					
自動車保険料					
軽・自動車税					
自動車重量税					
自賠償保険					
集落協議会費				9,000	
農業協同組合費				17,500	
農事実行組合費				2,500	
農業共済組合賦課金				9,000	

【5】土地改良及び水利費

調査票 P9

1 土地改良区費

事業種類	対象品目作付ほ場負担金額（円）										対象品目負担割合（％）		
	維持負担金					償還金							
ほ場整備事業			万	千	百	十			万	千	百	十	20
農地開発事業													20
かんがい排水事業													20
農道整備事業													
その他（整地、表土扱いのない事業）													

2 水利費等

費用名	対象品目作付ほ場負担金額（円）										対象品目負担割合（%）
水利に係る費用計			万	千	百	十					20

土地改良区費及び水利費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・**全部門**・損益計算書を参照します。

この事例では、土地改良水利費の補助科目として「ほ場整備事業維持負担金」「水利組合費」等を設定しています。

損益計算書		畑作部門				残高	構成比（%）
勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額				
《経常損益の部》							
[営業損益の部]							
【生産原価】							
土地改良水利費							
ほ場整備事業					14,000		
農地開発事業					22,000		
かんがい排水事業					12,000		
農道整備事業							
その他（整地・表土扱いのない事業）							
水利組合費					6,500		
揚水ポンプ組合費							
その他							
[営業外損益の部]							
【営業外収益】							
ほ場整備事業償還金					7,000		

【6】借入金（買掛未払金を含む。）及び支払利子

調査票 P9

資金名（用途）		調査開始時 未償還残高（円）				支払利子額（円）				対象品目 負担割合 （%）
計		万	千	百	十	万	千	百	十	
借 入 金	△△資金（トラクター用）	3	2	5	0	0	0	0	0	1 5
	××資金（コンバイン用）	6	0	0	0	0	0	0	0	1 5
買掛未払金		3	0	0	0	0	0	0	0	2 0

借入金

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
前期の合計残高試算表の決算・全部門・貸借対照表と今期の合計残高試算表の決算・全部門・
損益計算書を参照します。

この事例では、長期借入金及び利子割引料の補助科目として「△△資金（トラクター用）」、
「××資金（コンバイン用）」等を設定しています。

貸借対照表

全部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比（%）
【流動負債】					
買掛金				30,000	
短期借入金					
【固定負債】					
長期借入金				3,850,000	
△△資金（トラクター用）				3,250,000	
××資金（コンバイン用）				600,000	

借入金（支払利子）

損益計算書

全部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比（%）
【営業外損益の部】					
【営業外費用】					
利子割引料				64,000	
短期借入金利子					
長期借入金利子					
△△資金（トラクター用）				42,000	
××資金（コンバイン用）				22,000	

【7】建物及び構築物（土地改良施設を含む。）の所有状況

調査票 P10

番号	名称等	種類 コード	構造 コード	新 築	古 中 古	耐用 年数 (年)	取得年月		取得価額 (円) 購入金額から補助金を控除した額を記入してください。	農業経営基盤 強化準備金 (円) 建物等の取得のために取り崩した準備金の額を記入してください。	修繕費 (円) 当年の当該建物等の修繕費を記入してください。	保険料 (円) 当年の当該建物等の災害保険料を記入してください。	対象 品目 負担 割合 (%)	年内異動状況	
							年 (西暦)	月						異動 コード	異動に伴う発生金額 (円) 売却金額、取り壊しの金額
負担割合の変更の例	1	納屋	3	6	○	○		2005	9	130000				15	
共同所有の例	2	車庫（4戸で共同所有）	8	5	○	○		1980	8	130000				10	
準備金使用の例	3	倉庫	3	1	○	○		2015	2	300000	300000			10	
新築の例	15	納屋（新築）	3	6	○	○		2020	6	300000				10	

建物等の取得年月と取得価格（自動車、農業機械も同様）

ダイレクトメニューで【資産台帳】⇒【減価償却資産集計表】と進みます。
各資産名の取得年月日と取得価格を参照します。

減価償却資産集計表									
コード 事業区分 資産区分	資産名称 摘要					取得価格 交付金等 差引取得 償却基礎金額	普通償却額 割増特別償却額 当期償却費計 償却費累計	売却価額	
	取得年月日	償却方法	耐用年数	償却率	期間			売却損益	売却損益
	売却除去日	事業専用	数量	残存 1	残存 2			期首帳簿価額	期末帳簿価額
1 農業 建物	納屋					130,000			
	2005/9								
2 農業 建物	車庫（4戸で共同所有）					130,000			
	1980/8								
3 農業 建物	倉庫					300,000			
	2015/2								
4 農業 建物	納屋（新築）					300,000			
	2020/6								

修繕費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。

この事例では、修繕費の補助科目として「建物修繕費」「車修繕費」等を設定しています。
ここでは、共通部門で入力したので、全部門を選択していますが、わかりやすいよう全て
畑作で負担したと見なしています。

損益計算書

全部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
修繕費				170,000	
建物修繕費				50,000	
農具修繕費				50,000	
車修繕費				70,000	

【8】自動車（自動二輪・三輪を含む。）の所有状況

取得年月と取得価格

本マニュアルP26と同様、「減価償却資産集計表」を参照して
転記してください。

調査票 P11

番号	名 称 等	種類 コード	型式 コード	新 区 古 分 新品 中古	耐用 年数 (年)	取得年月		取 得 価 額 (円) 購入金額から補助金を控 除した額を記入してください	修 繕 費 (円) 当年の当該自動車等の 修繕費を記入してくださ い。	自動車保険料 (円) 当年の当該自動車 等の保険料を記入し てください。	自動車・ 軽自動車税 (円) 当年の当該自動車 等の自動車税又は軽 自動車税を記入して ください。	当年、車検を受けた自動車等 について記入してください。		対象 品目 負担 割合 (%)	年 内 異 動 状 況	
						年 (西暦)	月					自動車重量税 (円)	自賠責保険 (円)		異 動 コ ー ド	売 却 金 額 (円) 廃棄（無償譲渡を含む。）した 場合は、「0（ゼロ）」
1	軽トラ	1	1	○	3	2014	4	85000	50000	35000	40000	26500	6600	15		
2	普通乗用車	2	2	○		2013	1	150000	20000	40000	45000			20	1	50000
15	貨物トラック (4戸で共同所有)	1	3	○		2019	12	380000		350000	115000			15		

修繕費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。
建物の修繕費と同じですが、合算されているので、元帳で内訳を確認します。

損益計算書 全部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
[営業損益の部]					
[生産原価]					
修 繕 費				170,000	
建物修繕費				50,000	
農具修繕費				50,000	
車修繕費				70,000	

自動車保険料、自動車・軽自動車税、自動車重量税、自賠責保険

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。
この事例では、租税公課の補助科目として「自動車税」等を、損害保険料の補助科目
として「自動車保険料」を設定しています。
ここでは、各項目毎に合算されているので、元帳で更に内訳を確認します。

損益計算書 全部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
【販売費一般管理費】					
租税 公課				335,100	
固定資産税・建物				65,000	
軽・自動車税				★ 68,300	
自動車重量税				26,500	
自賠責保険				6,600	
損害保険料					
自動車保険料				425,000	

★「軽・自動車税」には、次ページの農業機械の税金も含まれます。

【9】 農業機械（生産管理機器を含む。）の所有状況

調査票 P12

番号	名 称 等	種類 コード	型式 コード	新 品	古 中 古	耐用 年数 (年)	取得年月		取 得 価 額 (円) 購入金額から補助金分を控 除した額を記入してください。	農 業 経 営 基 盤 強 化 準 備 金 (円) 農業機械の購入のために取 り崩した準備金の額を記入し てください。	修 繕 費 (円) 当年の当該農業機械や 生産管理機器の修繕費を 記入してください。	保 険 料 (円) 当年の当該農業機 械の保険料を記入し てください。	軽自動車税 (円) 当年の当該 農業機械の軽 自動車税を記 入してくださ い。	対 象 品 目 負 担 割 合 (%)	年 内 異 動 状 況	
							年 (西暦)	月							異 動 コ ー ド	売 却 金 額 (円) 廃棄（無償譲渡を含む。）した 場合は、「0（ゼロ）」
1	トラクター	4	3	○	○	4	2000	3	51000000				2400	15	2	0
2	トラクター（リース）	4	3	○	○		2017	11	58400000		500000		2400	15		
3	普通型コンバイン （4戸で共同所有）	2	1	6	○		2005	5	70000000				600	100 80		
15	自脱型コンバイン	2	0	2	○		2019	11	83000000	50000000			2400	15		

農業機械等の取得年月と取得価格

ダイレクトメニューで【資産台帳】⇒【減価償却資産集計表】と進みます。
各資産名の取得年月日と取得価格を参照します。

減価償却資産集計表

コード 事業区分 資産区分	資産名称 摘要					取得価格 交付金等 差引取得 償却基礎金額
	取得年月日 売却除去日	償却方法 事業専用	耐用年数 数量	償却率 残存 1	期間 残存 2	
1 農 業 農業機械	トラクター					5,100,000
	2000/3					
2 農 業 農業機械	トラクター（リース）					5,840,000
	2017/11					
3 農 業 機械装置	普通型コンバイン（4戸で共同所有）					700,000
	2005/5					
4 農 業 機械装置	自脱型コンバイン					8,300,000
	2019/11					

修繕費

ダイレクトメニューで
【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】
と進みます。合計残高試算表の決算・全部門
・損益計算書を参照します。

損益計算書

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
《経常損益の部》					
[営業損益の部]					
【生産原価】					
修 繕 費				170,000	
建物修繕費				50,000	
農具修繕費				50,000	
車修繕費				70,000	

軽自動車税

租税公課の補助科目として設定した、軽・
自動車税（前ページ「損益計算書」）を参
照してください。
ただし、合算されている場合は、元帳に
遡って詳細を確認します。

【10】 農具の購入費等

調査票 P13

● 農具・農業被服等の購入費

名 称 等	金 額 (円)	対象品目 負担割合 (%)	内 容 例 示
(計)	55,000	25	【農具の購入費】 ・くわ類、かま類、シャベル類、ホース、じょうろ、防除ネット、防鳥ネット等の購入費 【農業被服の購入費】 ・作業着、軍手、ゴム長靴等の農作業用の衣類の購入費
農具・農業被服等の			

● 生産管理関係の費用

名 称 等	金 額 (円)	対象品目 負担割合 (%)	内 容 例 示
(計)	44,000	20	【購入費】 ・コピー用紙、プリンター用紙等の消耗品の購入費 ・農業経営に係る事務用機、消耗品（筆記用具、帳簿、ノート、電卓等）の購入費
生産管理関係の費用			

農具・農業被服等の購入費

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・**全部門**・損益計算書を参照します。農業簿記では、「農具費」と「作業用衣料費」の勘定科目がありますので、そのまま利用します。

ここでは、共通部門で入力したので、全部門を選択していますが、わかりやすいよう全て畑作で負担したと見なしています。

損益計算書		全部門			
勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
[営業損益の部]					
【生産原価】					
農 具 費				4,000	
作業用衣料費				1,500	

生産管理関係の費用

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・**全部門**・損益計算書を参照します。農業簿記では、「研修費」、「事務消耗品費」及び「通信費」等の勘定科目がありますので、そのまま利用します。

ここでは、共通部門で入力したので、全部門を選択していますが、わかりやすいよう全て畑作で負担したと見なしています。

損益計算書		全部門			
勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
[営業損益の部]					
【販売費一般管理費】					
旅費交通費				0	
研修費				15,000	
接待交際費				0	
事務消耗品費				1,000	
通信費				28,000	
新聞図書費				0	

【11】土地の面積及び地代

調査票 P14

1 所有地

(1) 作付地

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 （a）			作付実面積 （a）			対象品目 負担割合 （%）	地目	
		ha	a		ha	a			田	畑
1	六条大麦（A団地）		2	5.5		2	0.5	100	☒	☐
2	六条大麦（B団地）		1	03.0		1	00.0	20	☐	☐
3									☐	☐

数量の入力（土地台帳面積・作付実面積・対象品目負担割合）

「農業簿記11」では対応しておりません。
元帳に面積を入力する事は可能ですが、計算はされません。
麦類生産費統計調査票【六条大麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

(2) 建物敷地等

番号	使用地名	総面積 （a）			使用面積 （a）			対象品目 負担割合 （%）
		ha	a		ha	a		
1	車庫		1	3		1	0	10
2	納屋		0	4		0	2	10
3	倉庫		0	5		0	4	10

数量の入力（建物敷地総面積・使用面積・対象品目負担割合）

「農業簿記11」では対応しておりません。
元帳に面積を入力する事は可能ですが、計算はされません。
麦類生産費統計調査票【六条大麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【11】土地の面積及び地代（続き）

調査票 P14

2 借入地

(1) 作付地

番号	団地（ほ場）名	土地台帳面積 (a)	作付実面積 (a)	支払地代 (円)	対象品目 負担割合 (%)	地目 田 畑
1	六条大麦（K団地）	53.5	50.5	63,600	100	○
2	六条大麦（L団地）	150.5	149.0	258,000	70	○

(2) 建物敷地等

番号	使用地名	総面積 (a)	使用面積 (a)	支払賃借料 (円)	対象品目 負担割合 (%)
1					
2					
3					

数量の入力（建物敷地総面積・使用面積・対象品目負担割合）

「農業簿記11」では対応しておりません。
元帳に面積を入力する事は可能ですが、計算はされません。
麦類生産費統計調査票【六条大麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

支払地代

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。
合計残高試算表の決算・畑作部門・損益計算書を参照します。

この事例では、支払地代の補助科目として、「六条大麦（K団地）」、「六条大麦（L団地）」を設定しています。

損益計算書

全部門

勘定科目	繰越	借方金額	貸方金額	残高	構成比（%）
[営業損益の部]					
【生産原価】					
支払地代				231,600	
六条大麦（K団地）				63,600	
六条大麦（L団地）				258,000	

数量の入力（土地台帳面積・作付実面積・対象品目負担割合）

「農業簿記11」では対応しておりません。
元帳に面積を入力する事は可能ですが、計算はされません。
麦類生産費統計調査票【六条大麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

【12】 作業別労働時間

1 家族労働時間

作業類	内 容 例 示	氏名	性別	(歳) 年齢	氏名	性別	(歳) 年齢	氏名	性別	(歳) 年齢	氏名	性別	(歳) 年齢	氏名	性別	(歳) 年齢	雇用労働時間 男	雇用労働時間 女	作業類	内 容 例 示
		農林太郎	男 女	70	農林花子	男 女	70	農林一郎	男 女	40	氏名 (農水) 同居人	男 女	25	氏名 ゆい・ 手間替受	男 女					
種子措	選種、浸種、種子消毒、催芽			時間			時間			時間			時間			時間			種子措	選種、浸種、種子消毒、催芽
刈 取 脱 穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理		1	0			5			5					1	0		3	刈 取 脱 穀	麦刈り、運搬、脱穀、稲架作り（取り壊し含む。）、麦稈の処理
乾 燥	乾燥、調製									5			5				3		乾 燥	乾燥、調製
生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）						3									3			生産管理	共同作業打合せ、技術習得、簿記記帳（税務申告は含まない。）
間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等			6						2	0						3		間接労働	建物、農機具等の修繕、購入資材の調達等

労働時間

「農業簿記 1 1」では対応しておりません。元帳に数量を入力する事は可能ですが、計算はされません。麦類生産費統計調査票【六条大麦】「調査票の記入の仕方」を参照しご記入願います。

3 支払賃金

区 分	支 払 賃 金 （ 円 ）						対象品目 負担割合 (%)
男		万	千	百	十		15
		2	5	0	0	0	
女		1	0	0	0	0	25

支払賃金

ダイレクトメニューで【集計分析】⇒【集計】⇒【合計残高試算表】と進みます。合計残高試算表の決算・全部門・損益計算書を参照します。

この事例では、雇人費の補助科目として、「男雇用」、「女雇用」を設定します。

損益計算書

全部門

勘定科目	繰 越	借方金額	貸方金額	残 高	構成比 (%)
[営業損益の部]					
【生産原価】					
雇 人 費				35,000	
男雇用				25,000	
女雇用				10,000	